

## 上下水道局が所管する建物における吹付けアスベスト（石綿）の使用について

上下水道局では、アスベストによる人体への健康被害の社会問題化を踏まえ、営業所等を初めとする上下水道局が所管する全施設について、安全性を確認するための調査を実施しております。

営業所等の施設で市民が直接利用する箇所については、吹付けアスベスト材を使用している箇所がなかったことを既に御報告申し上げておりますが、調査の中間時点である現在、その他の施設で吹付けアスベストを使用している箇所があることが判明しました。

### 1 調査概要

- (1) 調査期間 8月12日から
- (2) 対象施設 上下水道局全施設
- (3) 調査内容 建物に吸音材や断熱材として使用している吹付けアスベスト材及びアスベスト含有吹付けロックウール材について
  - ア 目視及び完成図書による吹付けアスベスト材使用の有無
  - イ 石綿含有率分析及び空気中の石綿濃度測定調査による吹付けアスベスト材使用の有無

### 2 中間報告

- (1) 目視及び完成図書により確認した吹付けアスベスト材を使用している施設について

施設名	存在する箇所	種類	対策
上下水道局 本庁舎別館	機械室ほか	石綿吹付け	平成17年度以後対策を実施する。
丸太町営業所	倉庫	石綿吹付け	平成17年度中に対策を実施する。
鳥羽水環境保全センター	第2管理棟作業室、倉庫	石綿吹付け	平成17年度以後対策を実施する。
伏見水環境保全センター	機械棟脱水機室、2階ホールほか	石綿吹付け	平成17年度以後対策を実施する。

(2) 上下水道局本庁舎別館の調査分析結果について

上下水道局本庁舎別館については、4階天井裏吹付け材の石綿含有率分析及び4階機械室の空气中石綿濃度測定調査を実施しました。

ア 調査結果

(ア) 吹付け材の状況

a 用途 耐火被覆材吹付け

b 分析結果 白石綿 9.5パーセント含有

(イ) 機械室空气中の石綿濃度

分析結果 18.3f/L

イ 対策

機械室の吹付けアスベスト材については直ちに石綿対策を実施します。

(3) 吹付けアスベスト材を使用している疑いのある施設について

吹付けアスベスト材を使用している疑いのある施設が21施設あり、この施設について、石綿含有率の分析調査(72箇所)委託のための作業を進めているところです。

調査結果に基づき、石綿使用箇所の利用形態、石綿の剥離状態により、優先度の高い順に石綿の除去、囲い込み及び封じ込めによる対策を実施する予定です。

3 対策工事留意事項

既存施設の改築及び修繕等、今後の解体工事については、平成17年7月に施行された石綿障害予防規則に基づき、適切な解体工事を実施し、工事関係者及び近隣住民の健康を確保するために万全を期して参ります。